

第80回日本体力医学会大会のご案内（第1報）

第80回日本体力医学会大会を下記の通り青森県弘前市において開催いたします。
全国から多くの会員の皆さまのご参加を心からお待ちしております。
なお、学会の最新情報は第80回大会ウェブサイト（<https://www.congre.co.jp/tairyoku80>）をご覧ください。学会大会の最新情報を順次アップしていきます。

記

1. 会期：令和8年9月25日（金）、26日（土）、27日（日）
2. 会場：弘前大学文京町キャンパス
(〒036-8224 青森県弘前市文京町1)
3. 大会長：津田 英一（弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座・教授）
4. 大会事務局：第80回日本体力医学会大会主催事務局
〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地
弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座（実行委員長）
松田 尚也（弘前大学医学部附属病院リハビリテーション科・助教）
5. 運営事務局：株式会社コングレ東北支社
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング
TEL：022-723-3211
(平日 9:30～17:30 ※時間外：土日祝日, 12/27～1/4)
FAX：022-723-3210
E-mail：tairyoku80@congre.co.jp
6. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 学会理事長講演
 - (3) 海外招待講演
 - (4) 基調講演
 - (5) 特別講演
 - (6) 教育講演
 - (7) 学会賞受賞講演
 - (8) シンポジウム（本部企画・大会企画）
 - (9) 一般研究発表（口演・ポスター）
 - (10) 共催セミナー（ランチョンセミナー・スポンサー・シンポジウム）
 - (11) 市民公開講座
 - (12) その他

※学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いません。

会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

※学会大会の一般研究発表への応募は、事前参加登録を演題登録前に完了いただく必要があります。

第79回日本体力医学会大会（滋賀）を終えて



第79回日本体力医学会大会（滋賀）大会長
立命館大学スポーツ健康科学部

田 畑 泉

第79回日本体力医学会大会（以下 学会大会）は2025年9月17日（水）から19日（金）に滋賀県草津市にある立命館大学びわこ・くさつキャンパスで、心配された台風の来襲もなく、多くの参加者の下、開催されました。

思い起こせば、学会大会会長に理事会から指名していただいたのは2023年2月でした。2023年7月に学内行事と国民スポーツ大会の実施期間を考慮した学会大会開催日を仮設定するという実質的な準備活動から約2年間、学会大会の準備を行い、本学会大会は成功裡に終了しました。学会大会事務局長の家光先生をトップとする学会大会実行委員会の先生方、事務局業務及び学会大会実行業務を援助していただいた（株）クレオテック、（株）阪急交通社の方々に感謝申し上げます。

学会大会では、641題の一般演題発表がありました。一般演題発表は学会大会で最も重要です。例年とは異なり、口頭発表を中心に行いました。どちらかというと、若手の研究者の方に口頭発表をお願いし、中堅の研究者の方にはポスターで発表していただきました。これは、若手の方は、口頭発表の緊張感を感じてほしいということと、シニアの方には、多くの研究者の方にご自分の研究成果をゆっくりご紹介してもらうというのが趣旨でした。ポスター会場は本部及び機器展示と同じホールで行われました。少し、狭い感じもありましたが大変、熱気のこもった議論がなされ、さらにポスター発表に来られた方の多くが企業展示を見てくださるという嬉しい影響がありました。

海外招待講演では米国ハーバード大学糖尿病センターのLaurie Goodyear先生を招聘しました。Goodyear先生は、2000年前後の骨格筋糖代謝の研究を端緒に精力的な研究活動を継続し、今回は、妊娠時の運動が胎児の健康に与える影響に関する興味深い研究成果を発表していただきました。彼女は多くの日本人研究者をポスドク等で迎え、その成果は、なんと90編以上のハイインパクトな論文となっています。講演にはかつてのポスドクの方が多数ご来場いただき、Goodyear教授も、多くの懐かしい日本人研究者に会えたことがうれしかったということでした。

特別講演では内閣府の宮園浩平先生をお招きました。宮園先生は“がん”との関連の深いTGF β 等の研究で有名です。今回は学会向けに宮園先生のmyostatinとの関連とさらに腱との連関について、フレイル予防についてお話しいただきました。宮園先生は今後の科学技術の方向性を導かれる内閣府の総合科学技術・イノベーション会議議員として、内閣府に勤務されています。今回、学会大会に宮園先生をお呼びし、日本体力医学会がフレイル予防等に関する研究を精力的に行っていることを認識していただいたことは、これも政府と日本体力医学会を“つなぐ”ことができる可能性がでてきたと期待しています。

口頭発表に加えて本学会大会では多くのシンポジウムが開催されました。とても興味あるシンポジウムが同じ時間帯で開催され、どれを選んでいいか迷いましたというようなご意見をいただきました。これは、わたくし自身も感じたことでした。

本学会大会では『つなぐ・シン日本体力医学会大会』をスローガンに日本体力医学会地方会、関連他学会とのジョイントシンポジウムを開催することにより、他の学協会とつながり・つなげることにより日本体力医学会大会及び学会そのものを強化することを目指しました。

まずは、各地方会考案のシンポジウムです。日本体力医学会大会は国民スポーツ大会の開催地で開催されることになっていますが、学会会員の少ない県での学会大会開催には開催県の会員の負担が大きくなることが危惧されています。そこで、開催県を含む日本体力医学会地方会の開催県以外の県の会員が協力することが必須となる可能性があります。その場合に、運営にかかわるだけでなく各地方会の特色を生かしたシンポジウムを開催することを提案し、今大会では滋賀県が所属する近畿地方会による“医学と体力の連携（近畿での歴史と取り組み）”が開催されました。

次に他学協会とのジョイントシンポジウムの開催です。日本体力医学会の会員数は漸減しています。このトレンドが続くと学会の存続にも影響が出てくる可能性があります。学会員の増加を目指すために、日本体力医学会と学術的に関連のある学会とのジョイントシンポジウムを開催しました。ご協力をいただいた学会（日本スポーツ栄養学会、日本スポーツ教育学会、日本体育・スポーツ・健康学会、日本生涯スポーツ学会）には旅費等をお支払いできませんので、各学協会は、関西地区の学協会会員の方にシンポジストとなっていただくことで対応していました。ジョイントシンポジウムの開催は各学協会の理事会でご承認を得ていただくことが必要でしたので、なるべく早期に手続きを始めが必要と感じました。

さらにインターナショナルレセプションを“海外とつなぐ”ために行いました。学会大会の準備をするにつれて、海外からの参加者が多くいらっしゃることがわかりました。韓国運動生理学会及びヨーロッパスポーツ科学会とのジョイントシンポジウムは日本体力医学会本部の企画ですので、これまで、学会大会ではなく、学会本部の担当の先生方が個人的にお世話されてきました。そこで、海外から来てくださった研究者に良い思い出を作っていただくためにも“ささやか”ではありますが、インターナショナルレセプションを開催させていただきました。学会大会参加者の確保という観点からも海外、特に韓国からの参加者を増やすということも、できる範囲で行っていただきたいと期待しています。

これらの3つの取り組みについては、今後の学会大会でも是非、行っていただきたいと期待しています。

最後に今回の学会大会で行った試みとして、“ガスを測る”と“動作を測る”というスポンサードシンポジウムを行いました。これは私が個人的には、これまで体力科学の実験研究で必須であった機器の供給元の企業様へ感謝すべきではないかとの思いから始まったものです。呼気ガス代謝測定は、運動強度の設定、体力医科学の基本である最大酸素摂取量、エネルギー代謝等、体力医科学研究に必須の測定項目があり、企業からの測定機器がなければ測定できません。また、動作解析もその側的には企業から供給される機器が必須であり、その意味でそれを学会大会のシンポジウムとして“公式”に感謝の意を示せたことは意義あるシンポであったと思っています（スポンサーデを払ってもらってのシンポジウムですので、心苦しいところもありましたが）。ある企業の方から、今年は例年より多く研究者の方との交流が持てましたというお言葉をいただきました。

今年は、学会本部から多くの企画が提案されました。そのなかでも、健康運動指導士、医師、理学療法士の部会が初めて開催されました。これは、職種に特化した体力科学研究に関する方向性を議論する場です。これらの取り組みにより、これらの職種の方がより多く日本体力医学会大会に参加し、さらに学会会員が増えることを期待します。

最後に、本学会大会を開催して、今後の発展性が見えたことが最大の収穫でした。今後の日本体力医学会のご発展を祈念いたします。

一般社団法人 日本体力医学会 定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、一般社団法人日本体力医学会と称する。英語名は、The Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicineと表示する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に設置することができる。

(地方会)

第3条 この法人は、社員総会の議決を経て、地方会を置くことができる。

2 地方会の組織及び運営に関し必要な規定は、理事会において定める。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第4条 この法人は、日本国内外における体力ならびにスポーツ医科学に関する研究の進歩、発展を促進し、研究の連絡協力を図るとともに、その成果の活用をはかり、もって我が国の学術の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第5条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 体力医学に関する学術講演会などの開催
- (2) 機関誌その他の刊行物の発行
- (3) この法人が関係する内外の関連団体との連絡及び協力
- (4) 研修会の実施と称号の授与
- (5) 体力医学の振興ならびに、普及、啓発
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(学術講演会)

第6条 学術講演会は、毎年1回以上開いて会員の業績を発表する。

2 国民体育大会行事の一環として行われる学術講演会は、この法人の学会大会として、原則として国民体育大会の開催地で行われる。

第3章 会 員

(法人の構成員)

第7条 この法人の会員は、次の4種とする。

- (1) 正 会 員 体力医学に関する学識経験を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 名 誉 会 員 この法人の発展に関して学術上の功績が特に著名な者で、理事会が推薦し社員総会で承認された個人
- (3) シニア会員 名誉会員に準ずる会員で、別に定める要件を満たした会員からの申請により理事会で承認された個人
- (4) 賛 助 会 員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

2 この法人は、正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）上の社員とする。

(入 会)

第8条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第9条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、毎年、会員は、社員総会において別に定める額の会費を支払う義務を負う。ただし、名誉会員はこの限りでない。

2 既納の会費は、いかなる場合でも返還しない。

(任意退会)

第10条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除 名)

第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき.
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき.
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき.

(会員資格の喪失)

第12条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第9条の支払義務を2年以上履行しなかったとき.
- (2) 総正会員が同意したとき.
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき.

第4章 社員総会

(構成)

第13条 社員総会は、すべての正会員をもって構成する。

(権限)

第14条 社員総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 事業報告及び貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）等の承認
- (5) 会費の額
- (6) 理事会で付議したもの
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 社員総会は、定時社員総会として毎事業年度終了後3箇月以内に開催するほか、必要がある場合に臨時社員総会を開催する。

(招集)

第16条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の5分の1以上の議決権を有する正会員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、社員総会の招集を請求することができる。

(議長)

第17条 社員総会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決権)

第18条 社員総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第19条 社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

- 3 社員総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面もしくは電磁的方法をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。

- 4 前項の場合における第1項、第2項の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

(議事録)

第20条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

第5章 役員等

(役員の設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 4名以内

2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長、1名を常務理事とする。

3 理事長を一般社団・財団法人法上の代表理事とし、副理事長及び常務理事を業務執行理事とする。

(役員の選任)

第22条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2 理事長、副理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 監事は、この法人又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

4 役員の選出についての細則は別に定める。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 副理事長及び常務理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人の業務を分担執行し、理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会で定めた順序により、その職務を代行する。

4 理事長、副理事長及び常務理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第26条 理事及び監事は、社員総会の決議によって解任することができる。

(役員の報酬等)

第27条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、社員総会において定める総額の範囲内で、社員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

第6章 理事会

(構成)

第28条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職
- (4) 社員総会に付議すべき事項の決定
- (5) 細則及び規則類の制定、同改廃の決定

(招集)

第30条 理事会は、理事長が招集する。

(議長)

第31条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定に関わらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることができる理事の全員が書面・メール又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき、その提案を可決する旨の理事会の決議があつたものとみなす。但し、監事が異議を述べ

たときは、その限りではない。

(議事録)

第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 評議員及び評議員会

(評議員)

第34条 この法人に、評議員を置く。

2 評議員は、理事会で選任する。
 3 評議員は、評議員会を構成し、理事会の諮問に応じ、意見を述べることができる。
 4 評議員の互選により、評議員会長を置く。

(評議員会)

第35条 評議員会は、毎事業年度に一回開催するほか、必要がある場合に開催する。

2 評議員会は、評議員会長が招集する。
 3 評議員会の議長は、評議員会長とする。
 4 評議員会は、理事会の諮問に応じ、第14条に定める社員総会の決議事項のほか、この法人の運営全般について意見を述べることができる。
 5 評議員会の決議は、評議員現在数の過半数が出席し、出席した当該評議員の過半数をもって行う。

第8章 資産及び会計

(事業年度)

第36条 この法人の事業年度は、毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第37条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
 2 前項の書類については、主たる事務所（及び従たる事務所）に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。
 3 第1項で承認された事業計画・収支予算は直近の社員総会に報告しなければならない。

(事業報告及び決算)

第38条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て、定時社員総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第5号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間（また、従たる事務所に3年間）備え置くものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事の名簿

(剩余金の分配)

第39条 この法人は、剩余金の分配は行わない。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第40条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第41条 この法人は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第42条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、この法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第11章 事務局

(事務局の設置等)

第44条 この法人の事務を処理するために、事務局を設置する。

- 2 事務局には、所要の職員を置く。
- 3 職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により理事長が別に定める。

第12章 捕則

(委任)

第45条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関する事項は、理事会の決議により別に定める。ただし、この定款の施行についての細則は、理事会及び社員総会の決議を経て、別に定める。

附 則

- 1 この法人は、その主たる事務所の所在地において設立の登記をすることにより成立する。
- 2 任意団体の日本体力医学会の正会員、名誉会員、賛助会員であって、第7条に規定する正会員、賛助会員の資格を有する者及び団体は、第8条の規定にかかわらずこの法人成立の日にこの法人に入会したものとみなす。
- 3 任意団体の日本体力医学会の評議員は、この法人成立の日にこの法人の評議員に選任されたものとみなす。
- 4 この法人の最初の理事の任期は、平成27年開催予定の定時社員総会終結の時までとする。
- 5 第7条第2項の規定にかかわらず、この法人の設立時社員は、次のとおりとする。

設立時社員（住所記載省略）

下光輝一

設立時社員（住所記載省略）

小野寺昇

- 6 この法人の設立時役員は、次のとおりとする。

設立時理事 荒尾孝

設立時理事 碓井外幸

設立時理事 大野誠

設立時理事 小野寺昇

設立時理事 勝村俊仁

設立時理事 川久保清

設立時理事 川原貴

設立時理事 栗原敏

設立時理事 坂本静男

設立時理事 定本朋子

設立時理事 下光輝一

設立時理事 下村吉治

設立時理事 鈴木政登

設立時理事 武政徹

設立時理事 竹森重

設立時理事 田中喜代次

設立時理事 田中宏暁

設立時理事 田畠泉

設立時理事 鳥居俊

設立時理事 永富良一

設立時理事 西平賀昭

設立時理事 浜岡隆文

設立時理事 福永哲夫

設立時理事 山内秀樹

設立時理事 吉岡利忠

設立時理事 下光輝一

設立時監事 小林康孝

設立時監事 能勢博

一般社団法人 日本体力医学会 定款施行細則

第1章 通 則

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第45条に基づき、会員、役員及び評議員の選出、委員会、学術集会等に関する諸規程を設ける。

第2章 会 員

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正会員 年額 10,000円
 - (2) シニア会員 年額 5,000円
 - (3) 賛助会員 年額 1口以上（1口50,000円）
- 2 会費は年度末までにそれぞれ納入しなければならない。
- 3 正会員、シニア会員ならびに名誉会員は、学術講演会及び機関誌に業績を発表することができ、また、機関誌等の頒布を受けるものとする。
- 4 賛助会員は、機関誌の頒布を受けるものとする。

第3条 シニア会員の認定は、本人の申請により理事会で行う。

- 2 シニア会員の認定を受ける正会員は、次のいずれも満たす者とする。
- (1) シニア会員を申し込むときの年齢が満70歳以上であること。
 - (2) 日本体力医学会の正会員歴20年以上であること。
3. シニア会員の認定を受けた者は、評議員の資格を喪失する。

第3章 評議員の選出等

第4条 評議員の選出は、推薦された評議員候補のうちから選考委員会の議を経て、評議員会で選任する。

- 2 評議員の選出に必要な事項は、別に「評議員選考内規」に定める。

第4章 理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等

第5条 理事候補者、評議員会長候補者及び監事候補者は、別に定める「選挙管理規程」に従い、4年毎に評議員の選挙によって選出する。

- 2 理事については、定款の規定により任期満了となる選任2年後の社員総会において、理事再任の承認を得ることにより、在任期間を4年とする。

第5章 委 員 会

第6条 この法人にその事業遂行のために、次の常設委員会を置く。

- (1) 総務委員会
- (2) 編集委員会
- (3) 学術委員会
- (4) 財務委員会
- (5) 評議員選考委員会
- (6) 渉外委員会
- (7) 倫理委員会
- (8) 利益相反委員会

2 各常設委員会の任務、任期、定員等は、別に定める。

第7条 この法人に、常設委員会の他、総会又は理事会の決議により必要があると認めたときは特定の事項を行わせるため特別委員会を置くことができる。

第6章 学術講演会、大会長等

第8条 学術大会に大会長を置く。

第9条 大会長は、理事会が推薦し、社員総会で選任する。

2 大会長は、当該年度の学術集会を組織し運営にあたる。

3 学術集会の運営等に関する規程は、別に定める。

第10条 大会長は、理事長の判断により必要な理事会に出席する。但し、議決権を持たない。

第11条 この法人は、理事会の議を経て、学術講演会、研修会、市民公開講座等を開催できることとする。

第7章 顧問

第12条 この法人に、1名以上5名以内の顧問を置くことができる。

2 顧問は、この法人における理事長の経験を有する者で、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応ずること。

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。

3 顧問の選任及び解職は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。

第8章 表彰

第13条 この法人は、日本体力医学会学会賞等を設ける。各賞に関する事項は、学会賞選考委員会規程に定める。

第9章 指定則

第14条 この細則の変更は、社員総会の決議を経なければならない。

附 則

1. この細則は、この法人成立の日から施行する。



体力科学投稿規定

改訂：2025（令和7）年10月10日

I. 投稿資格

本誌への投稿は本学会の会員・非会員を問わない。また、編集委員会が必要と認めた場合、会員・非会員を問わず投稿を依頼することができる。

II. 掲載採否・順序

原稿の採否は、原則として2名の査読審査により編集委員会にて決定する。査読者からの意見やコメント等は2ヶ月以内に修正した論文を提出する。期限内に提出されなかった論文は不採択とする。掲載は原則として採択順とする。

III. 原稿の種類

総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）、教育講座、抄録、その他（Letter to the Editor、議事録、学会記事、会報など）とし、原則として和文のみとする。

- A. オンライン投稿：投稿総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）とする。
- B. 依頼総説、教育講座、地方会抄録、その他（Letter to the Editor、議事録、学会記事、会報など）は、J-STAGE オンライン投稿審査システムを使用せず、以下のE-mailアドレスへ添付ファイルで投稿する。

hj-tairyoku@turuin.co.jp

IV. 原稿一般規定

ヒトおよび実験動物を対象とした研究の原著、ノート、資料および事例報告（症例報告を含む）では、当該研究施設等の倫理審査委員会あるいは動物実験委員会等の承認を受けた研究であることを「方法」に明記し、承認番号を記載するものとする。掲載された論文の著作権は日本体力医学会に帰属する。

- A. 使用ソフトウェア：下記の汎用ファイルで作成する。
 - 本文ファイル：Microsoft Office Word
 - 図表ファイル：Microsoft Office Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG
- B. 用紙設定：和文、英文抄録とともに、用紙設定をA4判とし、上下左右3cmの余白を設け、左側に行番号を入れ、一段組みで10.5ポイント以上の文字でダブルスペースにて入力する。
- C. 用語：日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会用語辞典」英和改訂第3版（2007年出版）、和英（1994年出版）を参照する。
- D. 文体：原稿は、平がな、新かなづかい、当用漢字、外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語、外来語、動植物名などは片かな、数字はアラビア数字を使用する。
- E. 単位及び単位記号：原則として国際単位系（SI）に従うが、当該領域で慣用されているものはこの限りではない。
- F. 図表：説明は英文で適切な題目をつけ、それに続いて図表の内容が理解できる説明を別紙に記載する。
- G. 掲載料及び別刷料：1頁あたり5,000円の掲載料を著者が負担する。（2,400字が刷り上がり1頁に相当する）カラー頁は、1頁あたり20,000円の掲載料を著者が負担する。別刷料は著者負担とする。なお、論文掲載後に正誤表を新たに追加する際、その料金は著者負担とし、1頁につき10,000円の掲載料を負担する。地方会抄録の掲載料は原則無料とする。ただし、地方会大会事務局が認めた非学会員の抄録掲載料は、1演題あたり3,000円とする。その他、学会大会および地方会大会で大会事務局が招聘した発表抄録の掲載料は原則無料とする。

H. 校正：編集委員会の決定した期日内で、校正はすべて著者の責任により行う。

I. 投稿についての問い合わせ

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局宛

〔電話FAX 共通 0235-22-3120〕 E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

V. 投稿規定

A. 原著および総説

1. 論文は独創性に富み、未投稿の研究論文とする。1頁目には、表題、著者名、共著者名、所属機関名、所在地の各（和・英）と、別刷希望部数を明記する。また、責任著者名の右にアスタリスク（*）を付し、責任著者のE-mailアドレスを記入する。次頁目には英文抄録とkeywords、それ以降に緒言、方法、結果、考察、引用文献、図の説明の順に記載する（図表の挿入位置は本文に赤で示す）。表および図は本文原稿とは別に作成する。また、表および図の中の文字および説明は、英語表記とする。
2. 原稿には英文抄録（Abstract：研究目的、方法、結果、結論などを含めて250words以内で記載）およびその和訳文を付ける。またランニングタイトルは、和文で20字以内を明記し、keywords（5語以内）を付ける。KeywordsはMedical Subject Headings（国立医学図書館：最新号）を参考にする。
3. 本文中で引用文献に言及した場合、文章の右肩か著者名の右肩に、末尾の引用文献に照応する番号を付ける。3人以上の共著の場合は“ら”“et al.”を用いる。

例1：長島¹⁾によれば………

例2：手島と角田²⁾によれば………

例3：馬ら³⁾によれば………

4. 文献表の作り方

- 1) 引用文献の記載順序は本文中の引用順に整理して、本文中の番号と照合する。文献表の著者名は“ら”，“et al.”と省略せず、全著者名を列記する。人名の記載順は姓を先にして名を後にする。本文中に引用されていない文献は、文献表に記載しない。doiの記載を推奨する。
- 2) 雑誌から直接引用する場合

番号、著者名：論文表題、掲載雑誌、巻：頁（始頁－終頁）、西暦年数の順に記す。

例1：長島未央子：長時間自転車運動が鍛練者の酸化ストレス度及び血中ビタミン濃度に及ぼす影響、体力科学, 60: 279-286, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.279.

例2：手島貴範, 角田直也：身長の相対発育からみた男子サッカー選手の大腿部筋厚発育とボールキック能力の発達、体力科学, 60: 195-205, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.195.

例3：馬 佳濛, 柴田 愛, 村岡 功：インターネットを利用する中国成人における推奨身体活動充足に関する社会人口統計学的要因、体力科学, 60: 185-193, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.185.

3) 単行本から引用する場合

番号、著者または編者名、章名、書名（章名がある場合は書名をイタリック体にする）、版数（括弧に入れる）、編者名（章著者がある場合）、発行所、発行所の所在地、引用頁、西暦年数の順に記す。

例：彼末一之, 中島敏博. 4. 神経機構 I – 温度求心路と体温調節「中枢」 –, 脳と体温 – 暑熱・寒冷環境との戦い –, 共立出版, 東京, 72-97, 2000.

4) 訳本から引用する場合

著者名、(訳者名)、タイトル、出版社、地名、ページ、出版年の順に記す。

例：アメリカスポーツ医学協会編（日本体力医学会体力科学編集委員会監訳）、運動処方

の指針-運動負荷試験と運動プログラム-原著第8版, 南江堂, 東京, 57-108, 2011.

5) 欧文の雑誌と単行本から引用する場合

例 1 : Steinberg SF. The molecular basis for distinct β -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111, 1999. doi:10.1161/01.RES.85.11.1101.

例 2 : Bajotto G, Shimomura Y. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247, 2006. doi:10.3177/jnsv.52.233.

例 3 : Sato S, Nomura S, Kawano F, Tanihata J, Tachiyashiki K, Imaizumi K. Effects of the β_2 -agonist clenbuterol on β_1 - and β_2 -adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400, 2008. doi:10.1254/jphs.08097FP.

例 4 : Shimomura Y, Murakami T, Nakai N, Nagasaki M. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. In: *Exercise, Nutrition, and Environmental Stress* Vol.1 (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA, 89-116, 2001.

B. ノート, 資料および事例報告（症例報告を含む）

原著及び総説の投稿規定に準ずる。但し, ノートおよび事例報告（症例報告を含む）は原則として刷り上がり 4 頁以内, 図表は 2 点までとする。

C. 依頼総説および教育講座

1. 依頼総説および教育講座は, 体力科学編集委員会の依頼による。

2. 原稿について

1) 依頼原稿は刷り上がり 10 頁以内を原則とする。

2) いずれの原稿も表題, 著者名, 所属などは体力科学投稿規定 V-A に準じて英文名を附す。教育講座では必ずしも英文抄録を必要としないが, 依頼総説では体力科学投稿規定 V-A に準ずる。

D. 地方会の抄録

原稿は, 一編900字以内で表題, 著者名, 所属, 本文を和文で記す。

※提出期限に遅れた場合, 本誌に掲載されない。

E. その他 (Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など)

※Letter to the Editorの項では, 本誌に掲載された原著, 総説, その他の掲載内容についての質問, 疑問, コメント等を編集委員会に寄せ, それに対する回答を執筆者に求め, その内容を掲載する。質問者も回答者もすべて実名とする。

VI. プレプリント

本誌では, 投稿前または投稿時に著者がプレプリントサーバ (JSTの運営するJxivのみ: <https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv>) へ原稿を投稿することを認める。この方針は, 一次研究を記述した原稿の初版にのみ適用される。査読者のコメントを受けて修正された原稿, 掲載受理（アクセプト）された原稿および本誌に掲載された原稿は, Jxivに投稿してはならない。Jxivに投稿した原稿を本誌へ投稿する際は, その旨を記載するとともにdoiを明記する必要がある。

また, Jxivに投稿した原稿が本誌に掲載された場合, 著者はプレプリントを更新して本誌に掲載・公開された論文へのリンクを記載する必要がある。なお, Jxivに投稿された原稿の著作権は, 著者が保持するものとする。

なお本誌では, Jxivなどプレプリントサーバに掲載された原稿を引用文献に加えることは原則的に認めない。

VII. 倫理・利益相反

- A. 人体ならびにヒト組織を対象とした科学研究を取り扱う論文では、その実験は1964年のヘルシンキ宣言（<https://www.wma.net/what-we-do/medical-ethics/declaration-of-helsinki/doh-jun1964/>）とその改訂版（<https://www.wma.net/policies-post/wma-declaration-of-helsinki-ethical-principles-for-medical-research-involving-human-subjects/>），あるいは国が定めた生命科学・医学系研究などの関連する最新のガイドラインや法令に従って実施されなければならない。また、ヒト遺伝子を取り扱う実験は、日本政府のヒトゲノム・遺伝子解析研究（<https://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/genome/0504sisin.html>）に従ってなされなければならない。日本体力医学会編集委員会では、所属機関等の研究倫理委員会の審査を受け、承認された研究論文の投稿を受け付ける。当該研究がこれらのガイドラインや法令に従って実施されたことを投稿論文内に明記し、さらに所属機関の倫理委員会が発行した承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- B. 実験動物を対象とした研究においては、国が定めた動物実験関連法規・指針を遵守して実施されなければならない。投稿論文内にはその旨を必ず明記し、所属機関の動物実験委員会等が発行した当該動物実験承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- C. 総説、原著論文、それに準ずる論文を投稿する際、日本体力医学会における事業遂行に係る利益相反(COI)に関する指針（https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/coi/coi_guideline.htm）に基づき、すべての著者の利益相反状態について（「自己申告による利益相反申告書」（別紙様式1））に記入し、オンライン投稿審査システムにアップロードするものとする。
- また、記載例に倣って、論文末尾にCOIに関して記載するものとする。項目が網羅されていれば簡潔にまとめて記載できるものとする。記載箇所は参考文献の前とする。

COIに記載を求める事項

- ①当該研究者の所属企業名（部署名、職名）
- ②当該企業からの出資（出資がある場合）
- ③当該研究への関係企業の関与について（研究結果の学会発表や論文発表の決定に関して関係企業が影響力の行使を可能とする契約の有無）
- ④当該研究結果に影響を与える企業からの労務提供としての受け入れになつてないか
- ⑤その他、利益相反として申告すべきこと

記載例

- ・ A（著者）はZ社（企業）の社員（取締役・顧問）である。
- ・ Bの配偶者はY社の取締役（顧問）である。ただし、本研究の結論にY社の影響はない。
- ・ CはX社から研究費を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論にX社の関与はない。
- ・ DはV社から講演料を受けた。ただし、本研究の結論にV社の影響はない。
- ・ EはU社の特許を有している。ただし、本研究の結果解釈や結論にU社の関与はない。
- ・ FはT社から会議参加の費用提供を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論にT社の関与はない。
- ・ GはS社から販促資料執筆に対して謝礼を受けた。HはR社より労務提供を受け入れた。ただし、本研究の結論にS社およびR社の影響はない。
- ・ Iに利益相反はない。
- ・ 共著者全員が利益相反はない。

定められた利益相反状態に該当しない場合は、論文末尾に上記の最後の例、「利益相反自己申告」

著者全員が利益相反はない」と記載するものとする。

VIII. 著者の資格と著者貢献

投稿に際しては, the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) の recommendations (<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html#two>) にしたがって, 投稿原稿の研究における全ての著者の貢献(役割)を明確に説明するものとする。ICMJEでは, 以下に示す4つの事項すべてを満たす者が著者であるとしており, これらの条件を満たさない研究者は謝辞に記載する。

- 1) 研究の概念化やデザインなど研究計画の立案, 得られたデータの分析や解釈に十分な貢献がある。
- 2) 研究の重要な内容に関して, 論文原稿の執筆あるいは推敲している。
- 3) 研究論文の発表に関して, 最終的な承認を行っている。
- 4) 研究内容の正確性や完全性に関連する質問が適切に調査あるいは解決されることを保証する上で, 作業のすべての側面に対して責任を負うことに同意する。

著者の役割は, 最終原稿と共に印刷・公表される。したがって, 当該研究における貢献を正確に反映する必要がある。

著者の役割の記載例にしたがって, 投稿原稿の最後に, 著者は著者全員の研究論文に対する貢献について, 著者のイニシャルを使って記載するものとする。

記載例

- ・著者AA, 著者BBと著者CCは, 研究デザインとプロトコルを概念化し, 研究機関を決定した。著者DDはデータ収集と組み立てを担当した。著者EEはデータの分析と解釈を担当した。草稿は著者AAが担当した。すべての著者は, 原稿を批判的にレビューし, 修正し, 投稿を承認した。
- ・著者AAは, 血液疾患および移植に関する患者データの分析ならびにその解釈を担当した。著者BBは, 腎臓の組織学的検査を担当し, かつ原稿の執筆に大きな貢献をした。すべての著者は, 最終原稿を熟読した上で, 投稿を承認した。

附: 投稿論文の種類は概ね次の基準によって分類される。

- 1) 原著: 独創的研究で新しい事実と価値ある結論を有するもので, 体力科学・スポーツ医学の進歩に貢献するものとする。
- 2) ノート: 原著より短いが, 新しい事実や価値ある結論が含まれるものとする。
- 3) 資料: 適切な分析法または調査法による有用な結果が含まれ, 公表することにより体力科学・スポーツ医学の分野において会員の研究・実践活動に有用な情報を含むものとする。
- 4) 事例報告(症例報告を含む): 運動・スポーツ等による体力医学・スポーツ医学の立場からみた様々な効果または治療・指導効果等の実例報告。

論文の分類

I 生理科学的研究

- I - 1 神経, 感覚
 - I - 1 - a 末梢神経
 - I - 1 - b 中枢神経
 - I - 1 - c 感覚
 - I - 1 - d 運動制御
- I - 2 運動器
 - I - 2 - a 筋生理
 - I - 2 - b 筋生化学
 - I - 2 - c 骨, 関節
- I - 3 呼吸, 循環
 - I - 3 - a 呼吸
 - I - 3 - b 心臓
 - I - 3 - c 末梢循環
- I - 4 血液, 免疫
 - I - 4 - a 血液
 - I - 4 - b 免疫
- I - 5 体液, 内分泌
 - I - 5 - a 体液, 汗, 尿
 - I - 5 - b 内分泌
- I - 6 代謝
 - I - 6 - a エネルギー代謝
 - I - 6 - b 糖代謝
 - I - 6 - c 蛋白代謝
 - I - 6 - d 脂質代謝
- I - 7 栄養, 消化
 - I - 7 - a 栄養
 - I - 7 - b 消化, 吸収
- I - 8 形態, 体構成
- I - 9 加齢, 性差
 - I - 9 - a 発育発達
 - I - 9 - b 老化
 - I - 9 - c 性差
- I - 10 環境
 - I - 10 - a 溫湿度
 - I - 10 - b 気圧, 風圧
 - I - 10 - c 低酸素
 - I - 10 - d 高酸素

I - 11 トレーニング

- I - 11 - a 呼吸, 循環
- I - 11 - b 代謝
- I - 11 - c 筋骨格系他
- I - 11 - d 体組成
- I - 11 - e その他
- I - 12 生活, 健康
 - I - 12 - a 休養, 疲労
 - I - 12 - b 健康管理
 - I - 12 - c 疫学
- I - 13 バイオメカニクス
 - I - 13 - a 力学的情報
 - I - 13 - b 動作分析
 - I - 13 - c その他
- I - 14 遺伝子
 - I - 14 - a 遺伝子多型
 - I - 14 - b 遺伝子制御
 - I - 14 - c その他
- I - 15 その他

II スポーツ医学的研究

- II - 1 スポーツと疾患
 - II - 1 - a 呼吸器疾患
 - II - 1 - b 循環器疾患
 - II - 1 - c 代謝疾患
 - II - 1 - d スポーツ外傷
 - II - 1 - e スポーツ障害
 - II - 1 - f スポーツ歯科
 - II - 1 - g その他の疾患
- II - 2 リハビリテーション, 運動療法
 - II - 2 - a リハビリテーション
 - II - 2 - b 運動療法
- II - 3 薬物, ドーピング
- II - 4 スポーツ心理学
- II - 5 その他

Journal of Physical Fitness and Sports Medicine

Instructions to Authors



Aims and Scope	1
Manuscript Types	1
Journal & Ethics Policies	2
Peer Review Process	6
Copyright, Open Access and Fees	9
Manuscript Submission	10
Manuscript Preparation	11
Accepted Manuscripts	15
Contact	15

Aims and Scope

The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM) is an Open Access journal that publishes peer-reviewed articles on modern physical fitness and sports medicine. The journal publishes Regular Articles, Short Communications, Case Reports, Study Profiles, Reviews, Short Reviews, Letters to the Editor, and Proceedings.

JPFSM's scope includes physical fitness, sports medicine, exercise physiology and metabolism, muscle biology, biomechanics, bone homeostasis, training sciences, aging and stress responses, health sciences, circadian biology, rehabilitation, and other interdisciplinary sciences.

As the official peer-reviewed journal of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine, *JPFSM* serves an ever-growing role in the support of the physical fitness and sports medicine community, especially in Asia. The journal employs rigorous peer review of manuscripts to ensure the highest scientific, publishing and ethical standards for our broad audience of researchers, clinicians, policy makers and others physical fitness professionals.

Manuscript Types

The journal welcomes 8 manuscript types, all of which are subject to peer review.

Regular Articles: Original research undertaken by the author(s) which is novel and significant. Regular Articles should be 6,500 words or less.

Short Communications: Original research undertaken by the author(s), which is more preliminary or has more limited outcomes, than that for Regular Articles. They must be of general or special interest. Short Communications may also contain interesting, potentially significant observations, or negative results that are of narrow scope. Short Communications should be 2,400 words or less.

Case Reports: Brief reports of rare examples or medical cases without precedent, but not hypothesis testing. These articles should be 2,400 words or less.

Study Profiles: Study Profiles describe the details of the design, rationale, methods and analyses, baseline data (if applicable), and outcomes to date (if applicable) of clinical trials or cohort studies. Study Profiles provide more information than the trial registry or the methods section of a Regular Article and aim to aid in the prevention of unnecessary duplication of research and increase transparency. Therefore, preference is given to studies with an extended follow-up or implementation periods. Study Profiles should be 6,500 words or less, and must conform to the relevant reporting guidelines listed in the EQUATOR NETWORK (<https://www.equator-network.org/>), such as the SPIRIT Statement (Standard Protocol Items: Recommendations for Interventional Trials) (<http://www.spirit-statement.org/>).

Reviews: Reviews present novel or unique overviews of recent or important developments in the field. Reviews must be insightful and must address the question(s) of interest using appropriate and fully presented evidence; exhaustive general summaries will not be published. Reviews are usually commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office. Reviews should be 6,500 words or less.

Short Reviews: Short articles that are overviews of recent research from an author's own laboratory, which should be 2,400 words or less. Short reviews are also commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office.

Letters to the Editor: Constructive comments and questions on regular articles, reviews, and other articles published in the journal. An opportunity will be provided for rebuttal to the authors in question. Responses from the authors, together with the names of authors and names of those submitting questions or comments, will be published. Instead of using the Editorial Manager online submission system, Letters to the Editor should be emailed to the Editorial Office as an attached PDF. (hj-tairyoku@turuin.co.jp)

Proceedings: Short summaries of in-progress or completed primary studies that have been presented at the General Sessions of the Annual Meeting of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine (JSPFSM), but have not yet been published in a journal. Proceedings articles (up to 1,800 characters) are published in Issue 6 of the journal each year.

Journal & Ethics Policies

JPFSM upholds the highest standards in scholarly publishing.

Before submitting a manuscript to the journal, authors must ensure that they have read and complied with the journal's policies. The journal reserves the right to reject without review, or retract, any manuscript that the Editor-in-Chief believes may not comply with these policies.

The responsibilities of the journal's authors, editors, reviewers and publisher regarding research and publication ethics are described in full below.

Submission to the journal implies that the manuscript has not been previously published (in part or in whole, in any language), is not in press, and is not under consideration for publication elsewhere.

Authors must inform the editors if any related manuscripts are under consideration, in press or published elsewhere. The availability of a manuscript on a publicly accessible preprint server does not constitute prior publication (see 'Preprints').

If authors choose to submit their manuscript elsewhere before a final decision has been made on its suitability for publication in *JPFSM*, they should first withdraw it from the journal.

Submission

JPFSM welcomes manuscript submissions from authors based anywhere in the world.

Submission of a manuscript to the journal implies that all authors: have approved it, warrant it is factual, have agreed to its submission, and have the right to publish it.

Originality

Submission to the journal implies that the manuscript is original work. The journal may use Similarity Check plagiarism software (provided by Crossref and powered by iThenticate) to screen manuscripts for unoriginal content. By submitting a manuscript to the journal, authors agree to this screening. Any manuscript with an unacceptable level of unoriginal material may be rejected or retracted at the Editors' discretion.

Preprints

To support the wide dissemination of research, the journal encourages authors to post their research manuscripts on community-recognized preprint servers, either before or alongside submission to the journal. This policy applies only to the original version of a manuscript that describes primary research. Any version of a manuscript that has been revised in response to reviewers' comments, accepted for publication or published in the journal should not be posted on a preprint server. Instead, forward links to the published manuscript may be posted on the preprint server. When submitting a manuscript which is also posted on a preprint server, authors must disclose preprint posting information (registered server and DOI).

Authors should retain copyright in their work when posting to a preprint server.

Secondary Publication

A manuscript can be approved for secondary publication if it meets the conditions of the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) recommendations, and the Editor-in-Chief acknowledges its necessity as a secondary publication. If secondary publication of a manuscript is desired, please submit to the Editorial Office a summary of the manuscript content and a reason for the necessity of secondary publication. A manuscript submitted for secondary publication will be reviewed in the same manner as other manuscripts not previously published.

Scooping

When assessing the novelty of a manuscript submitted to the journal, the editors will not be influenced by other manuscripts that are posted on community-recognized preprint servers after the date of submission to *JPFSM* (or after the date of posting on a preprint server, if the manuscript is submitted to the journal within 4 months).

Authorship

Submission to the journal implies that all authors have seen and approved the author list. Changes to the author list after manuscript submission – such as the insertion or removal of

author names, or a rearrangement of author order – must be approved by all authors and the editor.

The contributions of all authors must be described at submission based on the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) recommendations as follows:

- 1) Substantial contribution to the conception or design of the work, or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work.
- 2) Drafting the work or critically revising it for important intellectual content.
- 3) Final approval of the version to be published.
- 4) Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

Each manuscript must contain a ‘Contributions’ section before the References section as described in the ‘Manuscript Preparation’ section below.

Authors cannot be added or deleted from the paper after peer review, nor order of authors changed, without valid reasons and the approval of the Editor-in-Chief.

Image integrity

Authors may digitally manipulate or process images, but only if the adjustments are kept to a minimum, are applied to the entire image, meet community standards, and are clearly described in the manuscript. All images in a manuscript must accurately reflect the original data on which they are based. Authors must not move, remove, add or enhance individual parts of an image. The editors reserve the right to request original, unprocessed images from the authors. Failure to provide requested images may result in a manuscript being rejected or retracted.

Reproducing copyrighted material

If a manuscript includes material that is not under the authors’ own copyright, the authors must obtain permission from the copyright holder(s) to reproduce it.

If a manuscript includes previously published material, the authors must obtain permission from the copyright owners and the publisher of the original work to reproduce it. The authors must cite the original work in their manuscript.

Copies of all reproduction permissions must be included with the manuscript when it is first submitted.

Availability of data and materials

Authors must disclose the source of publicly available data and materials, such as public repositories or commercial manufacturers, by including accession numbers or company details in their manuscript, as appropriate.

Authors may make their own data and materials available by linking from their manuscript to J-STAGE Data (see below) or other relevant community-recognized public databases or digital repositories. All data sets must be made available in full to the editors and reviewers during the peer review process if requested. Authors commit to preserving their data sets for at least five years from the date of publication in the journal.

The journal encourages authors to grant reasonable requests from colleagues to share any data, materials and experimental protocols described in their manuscript.

J-STAGE Data

JPFSM recommends that the data underlying the manuscript be made available on J-STAGE Data, a data repository operated by the Japan Science and Technology Agency. Authors who opt to make data available on J-STAGE Data should contact the Editorial Office for further instructions. If authors wish to publish data from J-STAGE Data, they must submit the data and its metadata to the editorial board for peer review. The copyright of the data published by J-STAGE Data is held by JSPFSM. Data is made available under the Creative Commons CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial- NoDerivatives 4.0 International).

Animal/human experimentation

Authors of manuscripts describing work involving humans and/or human tissues must demonstrate that the work has been performed in accordance with the ethical standards formulated in the Helsinki Declaration of 1964, its revisions, and/or the latest version of the Ethical Guideline for Medical and Biological Research Involving Human Subjects.

Experiments describing work with the human genome should be conducted according to the Japanese Government's "Ethical Guidelines for Human Genome/ Gene Analysis Research".

Furthermore, work in relevant manuscripts must have received approval from the appropriate Institutional Ethics Committee (IEC) prior to being undertaken. The 'Materials and Methods' section must include the relevant ethics statements and specify: the study was carried out in accordance with the appropriate guidelines, and the name of the approving institutional review board or equivalent committee(s) with the approval number.

Manuscripts describing animal experiments must be conducted in accordance with the experimental animal guidelines of the institution as well as the appropriate government guidelines, such as those published by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The 'Materials and Methods' section of relevant manuscripts must include required ethics statements and specify: the study was conducted according to the appropriate guidelines, the full name of the institutional Animal Care and Use Committee or equivalent ethics committee that approved the work, and the associated permit number(s).

Clinical trial registration

The journal adheres to the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) policy on Clinical Trials Registration, which recommends that all clinical trials are registered in a public trials registry at or before the time of first patient enrollment as a condition of consideration for publication. Manuscripts describing clinical trials must include the registration number of the trial and the name of the trial registry.

Reporting guidelines

The journal requires authors to follow the EQUATOR Network's Reporting Guidelines for health research. Study types include, but are not limited to, randomized trials, observational studies, systematic reviews, case reports, qualitative research, diagnostic and prognostic studies, economic evaluations, animal pre-clinical studies and study protocols.

Author competing interests and conflicts of interest

In the interests of transparency, the journal requires all authors to declare any competing or conflicts of interest in relation to their submitted manuscript. A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an author's ability to conduct or report research impartially. Potential conflicts include (but are not limited to) competing commercial or financial interests, commercial affiliations, consulting roles, or ownership of stock or equity.

Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section of their manuscript.

When submitting a manuscript, all authors must fill out a "Self-declared Conflict of Interest Declaration Form" ([Form 1](#)) regarding their conflict of interest (COI) status in accordance with the JSPFSM [guidelines](#), and upload it to the online submission review system upon first submission.

Authors should declare any conflicts of interest after the Conflict of Interest section as described in the 'Manuscript Preparation' section below.

Confidentiality

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. By submitting their manuscript to the journal, the authors warrant that they will keep all correspondence about their manuscript (from the Editorial Office, editors and reviewers) strictly confidential.

Self-archiving (Green Open Access) policy

Self-archiving, also known as Green Open Access, enables authors to deposit a copy of their manuscript in an online repository. *JPFSM* encourages authors of original research manuscripts to upload their article to an institutional or public repository immediately after publication in the journal.

Long-term digital archiving

J-STAGE preserves its full digital library, including *JPFSM*, with Portico in a dark archive (see <https://www.portico.org/publishers/jstage/>). In the event that the material becomes unavailable at J-STAGE, it will be released and made available by Portico.

Advertising Policy

The journal does not accept advertising on its article pages, the journal's website, or elsewhere.

Peer Review Process

Editorial and peer review process

The journal uses single-blind peer review. When a manuscript is submitted to the journal, it is screened by the Editorial Office for the basic technical requirements. It is then assigned to the Editor-in-Chief, who performs an initial screening. Manuscripts that do not fit the technical requirements, journal's scope or are not deemed suitable for publication are rejected without review. Proceedings summaries are screened for suitability, but not sent to peer reviewers. The remaining manuscripts are assigned to an Editor who assigns two reviewers to assess each manuscript. Reviewers are selected based on their expertise, reputation and previous experience as peer reviewers. The deadline for submission of the reviewers' reports varies by article type.

Upon receipt of the two reviewers' reports, the Editor makes the first decision on the manuscript. If the decision is to request revision of the manuscript, authors have 2 months to resubmit their revised manuscript. Revised manuscripts submitted after this deadline may be treated as new submissions. The Editor may send revised manuscripts to peer reviewers for their feedback or may use his or her own judgement to assess how closely the authors have followed the Editor's and the reviewers' comments on the original manuscript.

The Editor then makes a recommendation to the Editor-in-Chief on the manuscript's suitability for publication. The Editor-in-Chief is responsible for making the final decision.

The members of the Editorial Board act in advisory roles, providing feedback as reviewers and making suggestions to improve the journal. In cases where the Editor-in-Chief is an author on a manuscript submitted to the journal, a member of the Editorial Board is responsible for making the final decision on the manuscript's suitability for publication in the journal. Any member of the journal's Editorial Board, including the Editor-in-Chief who is an author on a submitted manuscript is excluded from the peer review process.

Reviewer selection, timing and suggestions

Reviewers are selected without regard to geography and need not belong to the journal's Editorial Board. Reviewers are selected based on their expertise in the field, reputation, recommendation by others, and/or previous experience as peer reviewers for the journal.

Reviewers are invited within 2 weeks of an article being submitted. Reviewers are asked to submit their first review within 2 weeks of accepting the invitation to review. Reviewers who anticipate any delays should inform the Editorial Office as soon as possible.

When submitting a manuscript to the journal, authors may suggest reviewers that they would like included in or excluded from the peer review process. The Editor may consider these suggestions but is under no obligation to follow them. The selection, invitation and assignment of peer reviewers is at the Editor's sole discretion.

Reviewer reports

It is the journal's policy to transmit reviewers' comments to the authors in their original form. However, the journal reserves the right to edit reviewers' comments, without consulting the reviewers, if they contain offensive language, confidential information or recommendations for publication.

Acceptance criteria

If a manuscript satisfies the journal's requirements and represents a significant contribution to the published literature, the Editor may recommend acceptance for publication in the journal.

Articles in *JPFSM* must be:

- within the subject area of the journal's scope
- novel and original
- descriptions of technically rigorous research
- of high interest to the journal's audience
- important additions to the field.

If a manuscript does not meet the journal's requirements for acceptance or revision, the Editor may recommend rejection.

Editorial independence

As the journal owner, the JPFSM has granted the journal's Editorial Board complete and sole responsibility for all editorial decisions. The JPFSM will not become involved in editorial decisions, except in cases of a fundamental breakdown of process.

Editorial decisions are based only on a manuscript's scientific merit and are kept completely separate from the journal's other interests. The authors' ability to pay any publication charges has no bearing on whether a manuscript is accepted for publication in the journal.

Appeals

Authors who believe that an editorial decision has been made in error may lodge an appeal with the Editorial Office. Appeals are only considered if the authors provide detailed evidence of a misunderstanding or mistake by a reviewer or editor. Appeals are considered carefully by the Editor-in-Chief, whose decision is final. The guidelines of the Committee on Publication Ethics (COPE) are followed where and when relevant.

Editor confidentiality in peer review

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. Editors will not:

- disclose a reviewer's identity unless the reviewer makes a reasonable request for such disclosure
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved with the manuscript or its peer review
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

Conflicts of interest in peer review

A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an editor's or reviewer's ability to act impartially when assessing a manuscript. Such circumstances might include having a personal or professional relationship with an author, working on the same topic or in direct competition with an author, having a financial stake in the work or its publication, or having seen previous versions of the manuscript.

Members of the journal's Editorial Board undertake to avoid or declare any conflicts of interest when handling manuscripts, but it is not always possible to identify potential bias. An editor who declares a conflict of interest is unassigned from the manuscript in question and is replaced by a new editor. Reviewers are asked to declare any conflicts of interest to the Editor, who will determine the best course of action.

Errata and retractions

The journal recognizes the importance of maintaining the integrity of published literature.

A published article that contains an error may be corrected through the publication of an Erratum. Errata describe errors that significantly affect the scientific integrity of a publication, the reputation of the authors, or the journal itself. Authors who wish to correct a published article should contact the editor who handled their manuscript or the Editorial Office with full details of the error(s) and their requested changes. In cases where co-authors disagree over a

correction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Correction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

A published article that contains invalid or unreliable results or conclusions, has been published elsewhere, or has infringed codes of conduct (covering research or publication ethics) may be retracted. Individuals who believe that a published article should be retracted are encouraged to contact the journal's Editorial Office with full details of their concerns. The Editor-in-Chief will investigate further and contact the authors of the published article for their response. In cases where co-authors disagree over a retraction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Retraction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

The decision to publish Errata or Retractions is made at the sole discretion of the Editor-in-Chief.

Responding to potential ethical breaches

The journal will respond to allegations of ethical breaches by following its own policies and, where possible, the guidelines of COPE.

Reviewer Confidentiality

As part of their responsibilities, reviewers agree to maintain the confidentiality of unpublished manuscripts at all times. By accepting the invitation to review a manuscript, reviewers agree not to:

- disclose their role in reviewing the manuscript
- reveal their identity to any of the authors of the manuscript
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved in the review process
- involve anyone else in the review (for example, a post-doc or PhD student) without first requesting permission from the Editor
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

Copyright, Open Access and Fees

JPFSM is fully Open Access and uses a Creative Commons (CC) license to publish articles, which allows users to use, reuse and build upon the material published in the journal without charge or the need to ask prior permission from the publisher or author, within the stated conditions of the license. More details on the CC license used are below.

Copyright and licensing

Authors are required to assign all copyrights in the work to the JSPFSM, who then publish the work under the Creative Commons CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International). This license allows users to share unmodified articles, non-commercially, as long as appropriate credit is given.

Some funding bodies require articles funded by them to be published under a specific Creative Commons license. Before submitting your work to the journal, check with the relevant funding bodies to ensure that you comply with any mandates.

Page and color charges

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting and online hosting. To cover these costs in the absence of journal subscriptions, authors (or their representatives) are asked to pay page charges. There is no submission fee.

Page charges are listed in the table below (in Japanese yen, not including tax). The corresponding Author will be invoiced after publication. Invited Reviews and Short Reviews have no page charges.

Color charges are only charged if authors choose to have color figures in the print version. The Editorial Office liaises with authors as required after acceptance, and charges are listed below.

	Page Charge (yen/page)	Color figures (yen/page)
Regular Article	5,000	20,000
Short Communication	5,000	20,000
Case Report	5,000	20,000
Study Profile	5,000	20,000
Review (submitted)	5,000	20,000
Short Review (submitted)	5,000	20,000
Letters to the Editor	0	0
Correction	10,000	20,000

Waiver policy

Waivers for page charges are provided automatically when the corresponding author is from a “Group A” Research4Life country. In cases of demonstrated financial hardship, the journal will consider a pre-submission application for a waiver from any corresponding author to [hj-tairyoku@turuin.co.jp]. Applications cannot be made after the peer review process has begun.

The ability of an author to pay the APC does not influence editorial decisions. To avoid any possibility of undue influence, Editors involved with the decision-making process for articles are not involved in any deliberations on waivers.

Manuscript Submission

All manuscripts except Letters to the Editor and Proceedings articles must be submitted via the journal’s online submission system, Editorial Manager:

<http://www.editorialmanager.com/jp fsm/>. The original or revised manuscript text may be uploaded as a PDF or Microsoft Word file, but a Word file is required for the final manuscript text. Figures may be submitted separately in several other formats.

Letters to the Editor must be submitted via hj-tairyoku@turuin.co.jp as an attached file.

Proceedings articles must be submitted through the Annual Meeting website by the submission deadline. Proceedings submission guidelines will be available at the Annual Meeting website.

If you encounter any problems with your submission, please contact the Editorial Office at the details provided in the Contact section below.

Manuscript Preparation

Required Submission Form

A completed 'Required Submission Form' must be uploaded with the manuscript as a cover letter.

Style

Manuscripts should be prepared in Microsoft Word or other appropriate software, with margins of at least 3 cm. Authors should use Times New Roman 12pt font double-spaced on A4 size paper, single sided and line-numbered throughout.

English standards

Only manuscripts that are written in clear and concise English will be considered for peer review. If English is not the authors' first language, the Editorial Board recommends the manuscript receives professional editing service before submitting their manuscript to the Journal. English editing and revision will be conducted on manuscripts whose English grammar, spelling, etc. is judged to be inadequate by the Editorial Board.

Title Page, Abstract, keywords and other

The title page (page 1) should start with the type of manuscript (Regular Article, Short Communication, Review, etc.), the title, name(s) of the author(s), affiliation(s), mailing address(es), number of tables and figures, a brief running title (70 characters or less). The corresponding author's e-mail address should be included in the title page. An asterisk (*) should be added to the right of the corresponding author's name.

The Abstract (page 2) should clearly express the basic content of the paper in a single paragraph and should include the problem addressed, experimental approach, main results and findings, and conclusions. Abstracts must not exceed 250 words for all article types. Avoid using specific abbreviations. If it is essential to refer to a previous publication, omit the article title (e.g. Maekawa, S., Endo, S., and Sakai, H. (2015). *Sci. Journal.*, 14: 10–15).

Three to six descriptive keywords should be included after the Abstract, listed in decreasing order of importance. The keywords must be less than 80 characters and independent of each other.

Upon acceptance of an article by the Journal, the abstract will be published on the homepage of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

If a manuscript is written by authors resident in Japan Page 3 should contain the following information in Japanese: article title, author(s) names, affiliation(s), and abstract.

Title

The title should describe the content of the article briefly but clearly and is important for search purposes by third-party services. Do not use the same main title with numbered minor titles, even for a series of papers by the same authors. Do not use abbreviations in the title, except those used generally in related fields.

Affiliations

For the Title Page, provide full names and addresses of institutions (including laboratory, department, institute and/or university, city, state and country).

When there are two or more authors and they belong to more than one affiliation, the connection between each author and his or her affiliation should be indicated by italicized superscript ¹, ², ³... placed after each author's name and before each affiliation. Examples can be seen in recent issues of the journal.

Running Title

The running title should not exceed 50 characters, including spaces.

Abbreviations

Each abbreviation should be defined in parentheses together with its non-abbreviated term when it first appears in the text (except in the Title and Abstract). Common abbreviations that may be used without any explanation include the list below.

AMP, ADP, ATP, cAMP, cDNA, CoA, DNA, RNA, mRNA, LD50, FAD, FMN, GMP, P450.

Units and nomenclature

The following units should be used: length (m, cm, mm, μ m, nm), mass (kg, g, mg, μ g, ng, pg, mol, mmol, μ mol, nmol), volume (l, ml, μ l), time (s, min, h, d), temperature ($^{\circ}$ C, K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), and concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml, μ g/ml, ng/ml, pg/ml, %, %(v/v), %(w/v), ppm, ppb).

Otherwise, SI or SI-derived units should be used. More information on SI units is available at the [Bureau International des Poids et Mesures \(BIPM\) website](#).

The nomenclature used for chemical compounds shall be in accordance with the relevant IUPAC rules.

Main text

Each Original Article should comprise the following main text sections in this order: Introduction, Materials and Methods, Results and Discussion. The Results and Discussion may also be combined as Results and Discussion), Acknowledgments, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the main text).

Case Reports should be organized as follows: Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the References section).

The organization of other article types is up to author preference.

Acknowledgments

This section should be brief. Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section.

References

References should be restricted to only those that are essential, and extensive review of the literature should be avoided. References cited in the text should be numbered (in italic) in order of appearance and listed at the end of the text. Indication of doi (digital object identifier) is encouraged.

For references with only one author:

Steinberg SF. 1999. The molecular basis for distinct β -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111. doi: 10.1161/01.RES.85.11.1101.

Two authors:

Bajotto G and Shimomura Y. 2006. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247. doi: 10.3177/jnsv.52.233.

Up to twenty authors:

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. 2008. Effects of the β 2-agonist clenbuterol on β 1- and β 2-adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400. doi: 10.1254/jphs.08097FP.

More than twenty authors; list the first twenty followed by et al.:

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. et al. 2012. Some aspects of heat stress on the plasticity of skeletal muscle cells. *J Phys Fitness Sports Med* 1: 197-204. doi: 10.7600/jp fsm.1.197.

Citation from a book:

Shimomura Y, Murakami T, Nakai N and Nagasaki M. 2001. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. In: *Exercise, Nutrition, and Environmental Stress* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), 1: 89-116, Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA.

Citation from a paper in Japanese:

Nagashima M. 2011. Effects of endurance exercise on oxidative stress and antioxidant vitamin levels in trained cyclist. *Tairyoku Kagaku (Jpn J Phys Fitness Sports Med)* 60: 279-286 (in Japanese). doi: 10.7600/jp fsm.60.279.

If more than two references with the same year and author(s) are cited, use lowercase letters after the year (Tanaka et al. 2015a, 2015b). Lowercase letters should be inserted in same-year references in the reference list

Tables

Number tables consecutively using Arabic numerals (Table 1, Table 2, etc.). A title should be given at the top of each table. Explanatory material and footnotes should be typed below the table and should be designated with superscript letters, such as a) or b). Units of measurement should be included with numerical values at the top of columns. Avoid detailed explanations of the experimental conditions used to obtain the data shown in tables (which should be included in other sections as relevant).

Figures

Figures should be of high enough resolution for direct reproduction for printing. Note that 'figures' includes line drawings and photographs, as well as charts. Magnifications of photographs should be indicated in the legends and/or by scales included in the photographs.

Illustrations must be self-explanatory and they should be numbered consecutively with Arabic numerals (i.e., Fig. 1, Fig. 2, etc.). Each figure should have a short title. Figure legends should be typed together in a separate sheet(s). Figure legends should include sufficient experimental details to make the figures intelligible; however, duplicating the descriptions provided in other sections should be avoided.

Drawings prepared with the aid of software packages are acceptable as long as they are high-quality print-out ready. Drawings prepared for oral presentation are seldom suitable for use in printed documents. All figures should be marked with the first author's name and number in the lower right corner of each sheet.

The appropriate location of each table or table embedded in the text should be indicated in red ink in the margin of the manuscript. Duplication of data in tables and figures should be avoided. The cost of color reproduction of figures will be charged to the author(s).

Contributions

A Contributions section must be included that concisely describes each author's contributions; use initials to indicate author identity. It is expected that all authors will have reviewed, discussed, and agreed to their individual contributions ahead of time. Contributions statements will be published in the final article, and they should accurately reflect contributions to the work.

If authors do not meet the ICMJE recommendations for authorship (see the 'Authorship' section), they should be acknowledged in the Acknowledgements section.

The following are some example statements.

Example 1: AA, BB and CC conceptualized the study design and protocol, and determined the study institutions. DD collected and assembled the data. EE carried out the analysis and interpretation of data. AA drafted the manuscript. All authors have critically reviewed, revised and approved the manuscript.

Example 2: Experiment conception and design: AA and BB. Experiment implementation: CC. Data analysis: DD and EE. Paper composition: AA. Analyzing and writing advisory: BB and CC. All authors approved the final version of the manuscript.

Example 3: Conceived and designed the study: AA. Performed the study: BB, CC, DD. Analyzed the data: FF and EE. Interpreted the data: AA and BB. Wrote the paper: AA. All authors approved the final version of the manuscript.

Example 4: AA analyzed and interpreted the patient data regarding hematological disease and transplants. BB performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript.

Conflicts of Interest

A Conflicts of Interest statement must be included in each manuscript. Background guidance is supplied in the 'Author competing interests and conflicts of interest' section above. See also the [JSPFSM guidelines](#).

Each statement must include the following elements, as relevant:

1. Name(s) of the company of authors (including the position and the department)
2. All financial support from the business that the authors work for (if the submitted research is financially supported by a business)
3. Description of funder's role in the study design, collection, analysis, and interpretation of data, writing of the paper, and/or decision to submit for publication
4. Labor supply from the business
5. Any other conflicts of interest.

Example statements are as follows:

Example 1. The authors have read the journal's policy and have the following conflicts: AA, BB, CC, DD, and EE are employees of XXX Corporation, who supported the present study, in part. However, the sponsor had no role in the study design, data collection and analysis, decision to publish, or preparation of the manuscript. There are no patents, products in development or marketed products to declare. The authors declare no competing interests.

Example 2. AA, BB, CC, and DD are employees of YYY Corporation. EE has not received any payments for a given study from YYY Corporation. The authors have declared that no competing interests exist. This does not alter the authors' adherence to the Journal of Physical Fitness and Sports Medicine's policies.

Example 3. In the event there are no conflicts of interest within the policies stated within this document (or as referred to elsewhere), this should be declared by writing "Conflicts of Interest: The author(s) declare that there are no conflicts of interest".

Accepted Manuscripts

After a manuscript has been accepted, authors will require to submit the final manuscript files to Editorial Manager. Manuscripts that are accepted for publication are copyedited and typeset by the journal's production team before publication. The journal is published 6 times per year in print and online. All communication regarding accepted manuscripts is with the corresponding author.

Proofs

Page proofs are sent to the corresponding author, who should check and return them within 7 days. Only essential corrections to typesetting errors or omissions are accepted; excessive changes are not permitted at the proofing stage.

Reprints

Order forms for reprints are sent with the proofs to the corresponding author and should be returned with the proofs.

Contact

To contact the Editorial Office or the Editor-in-Chief, please write to:

Editorial Office

1-1 Doai Oyodogawa, Tsuruoka, Yamagata 997-0854, Japan
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

For other matters, write to:

Business Office

3F, 5-3-13 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0012, Japan
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

Updated: 28 October 2020

Updated: 1 October 2021

Updated: 22 July 2022

Updated: 26 January 2024

Updated: 10 October 2025

Categories covered

- 1 Nervous and sensory system
- 2 Motor control
- 3 Musculoskeletal system
- 4 Respiratory and circulatory system
- 5 Hematology and immunology
- 6 Humor and endocrinology
- 7 Metabolism
- 8 Nutrition and digestion
- 9 Morphology and body composition
- 10 Aging and gender difference
- 11 Environmental physiology
- 12 Exercise training
- 13 Lifestyle and health
- 14 Biomechanics
- 15 Genes and gene regulation
- 16 Sports medicine and diseases
- 17 Rehabilitation and exercise therapy
- 18 Drug and doping
- 19 Sports psychology
- 20 Miscellaneous

ご案内

〈各種手続方法〉

	連絡先	住所	電話番号	備考
正会員の入退会 及び住所所属変更	一般社団法人 学会支援機構 一般社団法人日本体力医学会事務局	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 RENEX Shin-Otsuka 3階 学会支援機構内 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp	TEL 03(5981)6015 FAX 03(5981)6012	入会は評議員1名の推薦が必要 入会はHPより登録 https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/information/index.htm 年会費 10,000円 (口座振替の登録または所定振込用紙を使用)
正会員の会費納入	〃	〃	〃	年会費 10,000円 (口座振替の登録または所定振込用紙を使用)
購読会員の入退会 及び購読料納入	〃	〃	〃	年間 13,200円
学会誌のバックナンバーの販売	〃	〃	〃	
賛助会員に関する業務	〃	〃	〃	
和文誌の投稿は https://www.editorialmanager.com/jspfsm/	「体力科学」編集事務局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp	0235(22)3120 TEL, FAX 共通	和文誌「体力科学」 投稿規定はHP参照のこと
英文誌の投稿は https://www.editorialmanager.com/jp fsm/	「JPFSM」編集事務局	〃	〃	英文誌「JPFSM」 投稿規定はHP参照のこと

〈地方会事務局〉

【北海道地方会】

地方会代表：谷口 圭吾 事務局長：岩本えりか
事務局所在地（〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学保健医療学部 理学療法学科）
TEL：011-611-2111
E-mail：jpfsm.hokkaido@gmail.com

【東北地方会】

地方会代表：津田 英一 事務局長：津田 英一
事務局所在地（〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座）
TEL：0172-39-5473, FAX：0172-39-5473
E-mail：eiichi@hirosaki-u.ac.jp

【北陸地方会】

地方会代表：山田 孝禎 事務局長：辻本 典央
事務局所在地（〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6-1 福井工業大学スポーツ健康科学部）
TEL：0776-29-2620
E-mail：tsujimoto@fukui-ut.ac.jp

【関東地方会】

地方会代表：町田 修一 事務局長：町田 修一
事務局所在地（〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台1-1 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科）
TEL：0476-98-1001（内線310），FAX：0476-98-1030
E-mail：machidas@juntendo.ac.jp

【東海地方会】

地方会代表：富樫 健二 事務局長：吉子 彰人
事務局所在地（〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学名古屋キャンパス）
TEL：052-835-7111（代表）内線4-1449
E-mail：yoshiko@lets.chukyo-u.ac.jp

【近畿地方会】

地方会代表：吉川 貴仁 事務局長：吉川 貴仁
※代表と事務局長は兼務。

事務局所在地（〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪公立大学大学院医学研究科運動生体医学内）
TEL：06-6645-3790, FAX：06-6646-6067
E-mail：gr-med-sports@omu.ac.jp

【中国・四国地方会】

地方会代表：小野寺 昇 事務局長：高原 翔全
事務局所在地（〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 川崎医療福祉大学）
TEL：086-462-1111, FAX：086-464-1109
E-mail：jspfsm.chu4@gmail.com

【北九州地方会】

地方会代表：飛奈 卓郎 事務局長：飛奈 卓郎
事務局所在地（〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1
長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科 運動生理学研究室）
TEL：095-815-5200
E-mail：tobitaku@sun.ac.jp

【南九州地方会】

地方会代表：正野 知基 事務局長：塙瀬 圭佑
事務局所在地（〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1
宮崎大学教育学部保健体育講座）
TEL：0985-58-7558
E-mail：kshiose@miyazaki-u.ac.jp

〈FIMS(国際スポーツ医学会)事務局〉

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE MÉDECINE
SPORTIVE (F.I.M.S.)

Secretary General of FIMS:
Prof. Lyle J Micheli, MD, USA
Office: Children's Hospital- 2nd floor, Division of Sports
Medicine, 319 Longwood Avenue,
Boston, MA 02115, UNITED STATES OF AMERICA
Tel : +617 355 6970 Fax: +617 730 0694
Email: michelilyle@aol.com
Alternate Email: stacey.cobban@childrens.harvard.edu

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2025年8月）議事録

日 時：2025年8月25日(月) 午後5時30分～7時40分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、

中田由夫常務理事、井上 茂、岡浩一朗、

甲斐裕子、勝川史憲、後藤勝正、下光輝一、

須永美歌子、竹森 重、田畠 泉、中里浩一、

成田和穂、浜岡隆文、檜垣靖樹、町田修一、

宮川俊平、宮下政司、宮地元彦各理事、

石井好二郎監事、

家光素行第79回大会事務局長、

津田英一第80回大会長

欠席者：赤間高雄、田村好史、内藤義彦、

前田清司各理事、清田 寛、小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 令和7年度庶務報告に関する件について

(中田常務理事)

資料に基づき、令和7年度庶務報告がなされた。

2025年7月31日現在、会員総数は3,254名（昨年度から51名減少）、評議員は486名（内医師60名、非医師426名）、賛助会員4団体、新入会員276名（昨年度から61名増加）、退会者358名（内自然退会157名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、自然退会とすることが承認された。

3. 令和7年度会計報告（決算）に関する件について

(宮川財務委員長)

資料に基づき、令和7年度決算について、報告された。

収入の部：会費収入は32,555,600円（内正会員30,160,000円）であり、収入合計は66,833,454円となった。

支出の部：支出合計額は66,547,765円となった。当年度収支差額は285,689円の黒字決算となった。

4. 令和7年度事業報告に関する件について

(永富理事長)

資料に基づき、令和7年度事業の概要が報告された。

1) 総務委員会（井上総務委員長）

1. 第81回大会（宮崎）大会長の推薦：田島卓也先生（宮崎大学医学部医学科感覚運動医学講座整形外科学分野准教授）

2. 学会規程の公開

3. 部会制・若手の会の設立・運営に関すること

①若手の会、②健康運動指導士部会、③理学療法士部会、④医師部会

4. 会員の状況に関する情報の収集・分析・公開

5. 大会・学会連携マニュアルの検討

2) 編集委員会（後藤編集委員長）

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM)」

Vol. 13のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 14のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 73のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 74のNo. 1, No. 2, No. 3

1) 電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

2) JPFSM掲載論文リストのメール配信

2. メール配信文について

JPFSMの発行にあわせて掲載論文の情報をメール配信してきたが、体力科学の掲載論文についてもあわせて配信することとした。（11/21）

3. CCライセンス表示について

「体力科学」Vol. 73, No. 6, 「JPFSM」Vol. 14, No. 1より、冊子体の各論文PDFにもCCライセンスを表示することとした。

4. Scopusへの収載申請（2/18）

5. Web of Scienceへの収載申請（2/25）

3) 学術委員会（町田学術委員長）

第79回日本体力医学会大会において学術委員会主催の2つの教育講演（AIおよび論文サポート）を企画した。

(1) スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

スポーツ医学研修及び日本体力医学会健康科学アドバイザー®について検討を行った。

コロナ禍によって2020年より中止を余儀なくされていた第31回スポーツ医学研修会は基礎コースをオンラインでの実施、認定試験をCBT (computer based testing)、応用コースを対面での実施としてそれぞれ実施することとなった。現在基礎コースを以下の内容にて実施中である。

■基礎コース（8月1日～31日に配信、全て60分のオンデマンド教材。その後学会大会におけるシンポジウムに参加）

基礎医学コース 4コマ

中枢・末梢神経系（渡邊航平 中京大学）

運動器系（山田崇史 札幌医科大学）

循環器・呼吸器系（片山敬章 名古屋大学）

代謝・栄養、加齢（藤田聰 立命館大学）

運動・スポーツ医学コース 4コマ

スポーツ医学 内科（深尾宏祐 順天堂大学）

スポーツ医学 外科（鳥居俊 早稲田大学）

運動処方の基礎（レジスタンス）

（菊池直樹 日本体育大学）

運動処方の基礎（有酸素）

（沼尾成晴 鹿屋体育大学）

運動療法（予防、健康づくり、公衆衛生、リハビリ）

- コース4コマ
- 運動器疾患に対する運動療法
(中村雅俊 西九州大学)
- 運動による健康づくり（身体活動量増加とその評価などの実践）(宮地元彦 早稲田大学)
- メタボリックシンドロームに対する運動療法
(田村好史 順天堂大学)
- 運動疫学（身体活動量増加とその評価などの理論的背景）(小熊祐子 慶應義塾大学)
- なお、基礎コース受講者は18名である。
- 日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号継続者として7名（うち終身0名）を継続とした。
- (2) 学会賞等選考委員会(宮地学会賞等選考委員長)
- 1) 第38回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。
 - 2) 第79回日本体力医学会大会大塚スポーツ医・科学賞の選考を行った。
 - 3) 「涉外委員会企画」若手研究奨励賞候補者セッションの審査を行った。
 - 4) その他の必要な選考を行った。
- 4) 財務委員会(宮川財務委員長)
- 収入、支出が適正に行われていること、各委員会においては委員会の活動に対して適正な予算の執行が行われていることを確認した。
- 5) 利益相反委員会(勝川利益相反委員長)
1. 日本医学会「COI管理ガイドライン2025」更新案にあわせて、「日本体力医学会利益相反(COI)に関する運用指針」の改定を行った。
 2. 上記にあわせ、編集委員会と連携して、学会誌のCOI申告書をICMJEフォームに差し替えた。
- 6) 評議員選考委員会(浜岡評議員選考委員長)
1. 令和6年度評議員候補者15名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。(男性:12名、女性:3名)
 2. 令和7年度評議員候補者として12件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。(男性:8名、女性:4名)
- 7) 涉外委員会(宮下涉外委員長)
- 【国際学術事業】
- ①2024年度若手研究奨励賞(国際学術交流)による、若手研究者・学生への表彰(佐賀大会で独自のセッションを設け、口頭発表にて審査)
- 1次審査の書類選考にて17名の会員より応募があり、7名が佐賀大会での2次審査に選出され、最終的に以下の3名が若手研究奨励賞(国際学術交流)受賞
- 第1位 古市泰郎(東京都立大学)
第2位 平賀大一(筑波大学大学院)
第3位 川島将人(川崎医療福祉大学)
- ②2025年度日本体力医学会若手研究奨励賞(国際学術交流)の滋賀大会での発表のための選考
- 9名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、6名を滋賀大会での最終審査のために選出
- ③European College of Sport Science (ECSS)との交流シンポジウム
- (ア) ECSS Rimin 2025での公募シンポジウムへの派遣
1名より応募があり、涉外委員会による審査の結果、以下の日本体力医学会会員1名を派遣
安藤創一(電気通信大学)
- ④Korean Society of Exercise Physiologyとの交流シンポジウム
- (ア) 2025 Korean Society of Exercise Physiology年次集会への派遣
2名より応募があり、学会賞等選考委員会による審査の結果、以下の日本体力医学会会員2名を派遣
江島弘晃(長崎国際大学)
畠中翔(東京都健康長寿医療センター研究所)
- (イ) 佐賀大会におけるKorean Society of Exercise Physiologyとの交流シンポジウムのための選考
涉外委員会委員による推薦を経て、以下の日本体力医学会会員2名を選出
内田昌孝(立命館大学)
奥津光晴(名古屋市立大学)
- 【国内学術事業】
- ⑤滋賀大会での日本スポーツ栄養学会との交流シンポジウムのための選考
涉外委員会委員による推薦を経て、以下の(日本体力医学会会員)2名を選出
宮本直和(早稲田大学)
坂崎未季(DM三井製糖株式会社)
- 8) 倫理委員会(成田倫理委員長)
1. 第78回大会(佐賀大会)の一般演題登録者に対して行った倫理的手続きについてのアンケート調査結果の解析を行った。
 2. その結果、第79回大会(滋賀大会)から、倫理承認が必要な研究の一般演題については、すでに倫理承認を得ている演題のみ登録を受け付けることを決定し、本学会ホームページで会員に周知を行った。
 3. 滋賀大会事務局と、一般演題応募時の倫理的手手続きの確認方法について協議を行った。
- 9) 広報委員会(田畠広報委員長)
1. ホームページのコンテンツに関する検討
体力医科学に関する最近のトピック(令和6年11月から令和7年7月:9本)のホームページへの掲載
 - 10) 男女共同参画推進委員会
(甲斐男女共同参画推進委員長)
 1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
 2. 佐賀大会におけるキャリアセミナーの実施
(学術委員会との共同企画)
 3. 滋賀大会における企画の検討
 4. 会員アンケートの企画(8月19日に実施)
- 11) 全国地方会実行委員会(岡田全国地方会実行委員長)
1. 各地方会における課題を把握し、地方会の柔軟な開催形態等について検討
 2. 各地方会の円滑な運営に向けて、それぞれの規約等の収集・整理

- 12) プログラム委員会（須永プログラム委員長）
 1. 佐賀大会の本部企画プログラム3つを実施
 2. 滋賀大会の本部企画プログラム2つを企画・運営
- 13) 将来構想検討委員会（永富将来構想検討委員長）

現執行部会がその任務を果たしているため、活動休止中である。

5. 令和8年度会計報告（予算）について (宮川財務委員長)

資料に基づき、令和8年度の予算案について報告された。

収入の部：現在の会員数および会費納入率実績（90%）に基づいて試算し、正会員会費は28,377,000円、会費収入全体では30,942,500円として計上した。今年度研修を実施することなどにより、収入額合計は72,823,500円として計上した。

支出の部：J-STAGE早期公開の追加分、各種委員会活動費の増額、研修会運営費などにより、支出合計予算額が77,572,500円となった。当年度収支差額は△4,749,000円となる見込みである。

6. 評議員推薦に関する件（浜岡評議員選考委員長）

資料に基づき、評議員選考委員会において候補者12名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、令和7年度の評議員候補者として12名（内、女性4名）を評議員に推薦することが承認された。

7. 日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈候補者について（中里スポーツ医学研修会委員長）

日本体力医学会名誉健康科学アドバイザーの称号贈呈者2名の氏名リストが提示され、承認された。

8. 日本体力医学会健康科学アドバイザー称号更新申請の延長手続きについて（中里スポーツ医学研修会委員長）

スポーツ医学研修会の開催中止期間が続いていることを考慮し、健康科学アドバイザー称号更新申請期限に猶予を設けることが提案され、承認された。

9. 全国地方会実行委員会委員の変更について (岡全国地方会実行委員長)

全国地方会実行委員会委員の交代の状況について説明され、次回理事会で改めて審議することになった。

10. 総務委員会各種議題について（井上総務委員長）

1) 各地方会の規程の公開について

全国地方会実行委員会と連携し各地方会規定の公開を進めていく旨、承認された。

2) 地方会における山梨県、長野県、新潟県の取り扱いについて

全国地方会実行委員会と連携し継続審議とする旨、承認された。

3) 新たな若手の会ワークショップの企画案について

資料に基づき、若手の会ワークショップの企画案

が説明され、承認された。予算に関して、参加費を徴収するかどうかを若手の会において検討することになった。

4) 会員に関する情報2025の集計について

会員情報を集計して、今後継続的に公開する旨、承認された。

5) 会員アンケート2025の実施について

昨年と同じ内容で大会後にアンケートを実施する旨、承認された。

6) 本部企画の費用負担について

大会における本部企画についてプログラム委員会が取りまとめを行うことが提案され、承認された。

7) 評議員名簿の公表について

評議員へ通知のうえ評議員名簿の公開を進めることが提案され、承認された。

8) 物故者への弔意の表明について

総務委員会で検討して後日提案予定である旨、報告された。

11. 理事再任審議の件について（永富理事長）

定款細則、第4章、第5条の2.に基づき、9月18日（木）に開催される社員総会で、理事の再任が諮られることが報告され、承認された。また、社員総会終了後、臨時理事会を開催し、理事長、副理事長、常務理事、各種委員会委員長、各委員の再任審議を行うことが報告された。

12. その他

1) 旅費規程の改定について（中田常務理事）

資料に基づき、旅費規程の改定について説明がされ、承認された。

【報告事項】

1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について（中里スポーツ医学研修会委員長）

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告がなされた。日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者7名の氏名リストが掲示され、承認された（内、終身称号者は0名）。

2. 各種委員会報告

1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況
<投稿状況>（2024年9月1日～2025年7月31日）

「JPFSM」誌：新規投稿38編（内海外3編）

※前年同期間：新規投稿50編

（内海外7編、特集号2編）

7/31現在、審査中15編（採択10編、不採択12編、取下げ1編）

※受付不可4編（投稿規定に沿わない等で原稿返却、海外4編）

「体力科学」誌：新規投稿25編

（内特集号4編、依頼4編）

※前年同期間：新規投稿33編

- 7/31現在, 審査中 2編 (採択15編, 不採択8編)
 <発行予定>
 「JPFSM」誌
 ○ Vol. 14, No. 5 (2025年9月25日発行)
 Short Review 2編, Regular Article 2編
 ○ Vol. 14, No. 6 (2025年11月25日発行)
 Proceedings
 ○ Vol. 15, No. 1 (2026年1月25日発行)
 Regular Article 3編
 ○ Vol. 15, No. 2 (2026年3月25日発行)
 Regular Article 3編
 ○ Vol. 15, No. 3 (2026年5月25日発行)
 Short Review 1編, Regular Article 2編
 ○ Vol. 15, No. 4 (2026年7月25日発行)
 Regular Article 3編
 ○ Vol. 15, No. 5 (2026年9月25日発行)
 Regular Article 2編 + (今後の受理論文)
 「体力科学」誌
 ○ Vol. 74, No. 5 (2025年10月1日発行)
 原著 1編, 教育講座 2編
 ○ Vol. 74, No. 6 (2025年12月1日発行)
 総説 2編, 原著 1編
 ○ Vol. 75, No. 1 (2026年2月1日発行)
 大会指定演題
 ○ Vol. 75, No. 2 (2026年4月1日発行)
 総説 1編, 原著 1編 + (今後の受理論文)
- 2) 学会賞等選考委員会 (宮地学会賞等選考委員長)
 資料に基づき, 大塚スポーツ医・科学賞の受賞者 (3名) が報告された.
3. 第79回 (滋賀) 大会の進捗状況
 (家光第79回大会事務局長)
 家光事務局長より, 第79回 (滋賀) 大会の進捗状況が報告された.
4. 第80回 (青森) 大会の進捗状況 (津田第80回大会長)
 津田大会長より, 第80回 (青森) 大会の準備状況が報告された.
5. 日本医学会連合領域横断的連携活動事業 (TEAM事業) について (小熊副理事長)
 資料に基づき, TEAM事業への申請状況について報告された.
6. 健康日本21全国連絡協議会の連携指標ワーキンググループ (小熊副理事長)
 資料に基づき, 健康日本21全国連絡協議会の連携指標ワーキンググループについて報告された.
7. 日本栄養・食糧学会との学会間連携
 (町田学術委員長)
 資料に基づき, 日本栄養・食糧学会との学会間連携について報告された.
8. オンラインによる定期的なAI関連学術セミナー
 (町田学術委員長)
 資料に基づき, オンラインによる定期的なAI関連学術セミナーについて報告された.
9. 多施設共同による運動介入研究の計画
 (町田学術委員長)
 資料に基づき, 多施設共同による運動介入研究の計画について報告された.
10. その他
- 1) 学会賞等選考委員会委員の任期について
 (宮地学会賞等選考委員長)
 学会賞授与規程により学会賞等選考委員会の委員長および委員 2名が任期満了となることが報告され, 次回理事会で委員長と委員の選任を行うことになった.
 - 2) 日本医学会の評議員, 連絡委員, 用語委員について (永富理事長)
 日本医学会の評議員, 連絡委員, 用語委員について説明がされ, 日本体力医学会からは永富理事長, 成田理事, 小熊副理事長が継続する旨の報告がされた.
 - 3) 第32回日本医学会総会登録推進委員について (永富理事長)
 第32回日本医学会総会登録推進委員について, 日本体力医学会からは吉川貴仁氏 (大阪公立大学教授) を推薦する旨, 報告された.

2025年度第1回日本体力医学会編集委員会議事録

〔日時〕 2025年9月16日(火) 14:30~15:40
 〔場所〕 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
 ラルカディアR201
 出席者：後藤勝正（委員長），門間陽樹（副委員長），
 秋本崇之，宇高潤，小林哲士，小山勝弘，
 竹森重，十枝内厚次，中里浩一，
 中田由夫，沼尾成晴，福典之，松尾知明，
 柳谷登志雄，山内秀樹，山津幸司，
 吉川貴仁（各委員）
 (編集事務局：佐藤信之，本間佳子，田中加奈子)
 欠席者：和氣秀文，前田清司（各副委員長），赤間高雄，
 大藏倫博，大島秀武，大槻毅，加藤晴康，
 川中健太郎，木田哲夫，小宮山伴与志，
 小山照幸，重松良祐，鈴木宏哉，富田秀仁，
 中澤公孝，成田和穂，浜岡隆文，藤井宣晴，
 藤田聰，麓正樹，増木静江，宮下政司，
 向井直樹，渡辺賢（各委員）（委任状24通）

2024年度第2回編集委員会の議事録

上記の件につき確認された。

【審議事項】

1. 特集号の企画について

後藤編集委員長より、総務委員会から編集委員会へ特集号の企画提案があったとの説明がなされた。門間副編集委員長より、『日本体力医学会における部会・若手の会発足と今後の取り組み』(仮)の企画案にそつて説明があり、理学療法士部会、健康運動指導士部会、医師部会、若手の会の4つの会の設立について、体力科学特集号での掲載が承認された。

2. 英文誌（JPFSM）早期公開について

著者より、J-STAGEの早期公開機能を利用することはとの提案があったことが後藤編集委員長より報告された。論文採択から出版まで1年以上かかることや、JPFSMオリジナルwebsiteのOnline Firstではdoiがつかないため、J-STAGEの早期公開で採択原稿を公開する形にすれば、その段階でdoiがつけられるとの説明がなされた。また、8月の理事会にて早期公開の提案をし、doiの付与、その作業のための予算について承認が得られたとの報告があった。

早期公開については、利用申請後、準備が整い次第進めることで承認された。

補足として、doiはこれまで[ジャーナルコード.巻.開始頁]に対し、「早期公開」の際は[ジャーナルコード.論文番号]となることが報告された。早期公開記事のdoiは通常公開する記事に引き継がれることや、今後採択された論文は、J-STAGEに早期公開することとし、すでにOnline Firstで公開になっている論文についても早期公開を進める。

3. JPFSM誌・体力科学誌 発行スケジュール

後藤編集委員長より、JPFSM誌については、PubMed収載のため定期的な刊行を目指し1号3編で掲載しているとの説明があった。体力科学誌について

は、今後の論文掲載が厳しい状況であることから、今後の特集号の企画については、編集委員の中から担当をGuest Editorも含めてお願いすることや、学会大会で発表された内容で、総説や教育講座への推薦依頼についてもお願いしたいとの提案があった。

4. 和文誌（体力科学）投稿規定について

投稿者より、「投稿規定の内容が矛盾していたり、指示がわかりにくかったり、現在の投稿環境に合っていないように感じました」との指摘があったため、下記2点について、修正することで承認された。

(1) V. 投稿規定のA. 原著および総説について、2頁目を次頁目に、3頁目以降をそれ以降とし、ページを設定しないこととする。

(2) ランニングタイトルは日本語しか求めていないにもかかわらず、投稿システムでは英語の入力項目があることから、投稿システムで「ランニングタイトル（英語）」の項目を外すこととする。

【確認事項】

1. 著作権管理委託著作物リスト（AI利用）更新について
 後藤編集委員長より、本学会が著作権権利を委託している「一般社団法人 学術著作権協会」から、AI利用に関しての委託可否についての問い合わせがあり、本学会もAI利用に関する権利委託をすることで確認された。

2. COI申告書について

後藤編集委員長より、COI運用規程を一部修正し、全著者から申告書の提出を求めることが2025年5月の理事会で承認されたが、現時点（編集委員会開催日）においてICMJEの申告用紙の修正が完了していないとの説明がなされた。今後、日本医学会の指針に適合するように、運用指針の改訂とCOI申告書の差替え、投稿規定のリンク文書の変更は必須、投稿規定自体の変更を必要に応じて行うことで確認された。

【報告事項】

1. 編集委員会 令和7年度活動報告

後藤編集委員長より、令和7年度の編集委員会の活動について報告された。その中でScopusから収載審査に関する結果が却下であったことが報告された。主に、ジャーナルタイトル変更や掲載論文の質向上、Websiteの改善等がコメントされており、今後、学会の方向性やWebsiteの改善について検討していくこととなった。

2. JPFSM誌・体力科学誌の投稿状況と現状報告

（2024年8月1日～2025年7月31日現在）

後藤編集委員長より、JPFSM誌・体力科学誌の投稿・掲載状況、採択率、J-STAGEのアクセス統計について報告された。新規投稿についてはJPFSM誌:41編（前年比16編減）、体力科学誌:26編（前年比7編減）であった。また、今後2つの雑誌への方向性についてアンケートを実施してはとの意見があった。

第40回日本体力医学会近畿地方会 一般演題募集のご案内

■日 時：令和8年（2026年）2月28日（土）

■大会長：佐藤幸治（神戸大学）

■会 場：神戸大学人間発達環境学研究科

（鶴甲第2キャンパス）F棟（F257, F263）

（兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11）

<https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/access>

■アクセス：

- ・阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス36系統「鶴甲団地」行き（「鶴甲2丁目止」行きでも可）に乗車「神大人間発達環境学研究科前」で下車、バス停より徒歩すぐ

■開催形式：現地開催のみ

■シンポジウム：

「The Prospection of Lifelong Health and Well-being」

シンポジスト：

1. 身体教育から観る運動遊び
～子どもの健やかな育ちのために～
村田トオル先生（大阪青山大学）
2. 小児の身体活動の社会的決定要因～小児だけでは克服できない格差にどう立ち向かうのか～
森 隆彰先生（同志社大学）
3. 社会で支える健康づくりと介護予防
上村一貴先生（大阪公立大学）
4. サルコペニア・フレイル予防と運動
真田樹義先生（立命館大学）

■一般演題募集：体力・スポーツ医科学に関する演題

- ・今回の地方会では、ポスター発表と口頭発表を設けます。
- ・発表形式（ポスターか口頭発表）の決定は、近畿地方会幹事会に一任させていただきますことをご了承

ください。

- ・抄録原稿は、「抄録原稿用フォーマット」をダウンロードの上、①演題、②発表者（筆頭発表者に○印）、③所属、④本文（目的、方法、結果、結論の順で）の①～④を全てあわせて900字以内で記載して下さい。
図表は認めません。

応募は、下記送り先のメールアドレスまで「エントリーシート」と一緒に添付してお送りください。

※共同発表者を含め、会員・非会員に限らず、どなたでも発表できます。

※筆頭発表者が会員の方は、学会終了後、学会の報告として学会誌『体力科学』に抄録を掲載いたします。

※筆頭発表者が非会員で抄録掲載を希望される場合は、掲載料3,000円を、一般演題締め切り期日までに下記口座までお振込みください。

■一般演題締め切り期日：2026年1月9日（金）

■学会誌掲載料振込先（筆頭発表者が非会員で、学会誌に抄録掲載希望の場合のみ）

大阪シティ信用金庫

店名：公立大病院出張所

口座：普通 8050099

日本体力医学会近畿地方会事務局 代表 吉川貴仁

■応募書類

・「抄録原稿」

・「エントリーシート」

■送り先及び問い合わせ先：

近畿地方会事務局

大阪公立大学大学院医学研究科

運動生体医学 吉川、小川

E-mail: gr-med-sports@omu.ac.jp

FAX: 06-6646-6067

編集後記

『体力科学』第74巻6号をお届けします。本号に掲載された原著論文1編と総説2編は、「体力科学＝身体活動の科学」という原点を、2025年の締めくくりとして改めて照らし出しています。

本年も全国各地で自然災害が相次ぎました。自然災害を含む緊急時に「自他を守るために動く力」は、健康づくりの延長にとどまらず、生存と尊厳に直結する基盤的能力です。大槻先生の原著論文は、運動教室と防災教室を併催した設計が、従来の運動教室とは異なる層（より体力水準の低い高齢者）に届き、6週間後に10回椅子座り立ちで改善を示したことを報告されました。地域の学びを束ね、平時と有事を橋渡しする社会実装の試みとして、体力科学の射程を着実に広げるものです。

二つの総説も、我々読者の探究心を強く揺さぶり、分子から個体、実験室から現場へと視野を広げます。渡邊先生は、一過性運動後の骨格筋疲労における酸化ストレスの役割を、活性酸素種（ROS）の化学的特性・產生源・収縮機構への影響から再点検し、「好影響と悪影響が拮抗するフェーズ」と「機能低下が顕在化するフェーズ」という二相モデルを提起しました。抗酸化剤が「万能薬」ではない理由を、分子と個体（機能）をつないで捉え、実験室と現場の距離を縮める優れた試みだと思います。山田先生は、40か国・1万人超の二重標識水データバー

を礎に、生涯にわたり変容するエネルギー・水代謝の実像を詳細に描き出しました。中年期の総エネルギー消費は必ずしも低下しないこと、乳児の相対的代謝率が極めて高いことなどの知見は、食事摂取基準の策定、熱中症や脱水リスク管理、そして災害下の水・食料安全保障の設計等に直結する知を与えます。ここに、堅固な事実の記述、評価方法の洗練化、そして現場への実装が有機的に連動する、本学会の強みが表れています。

この一年を振り返れば、基礎科学の大きな成果が報じられ、スポーツ界でも日本人選手の活躍が社会を勇気づけました。スポーツの力と生命科学が響き合うとき、体力科学は「人の生」を支える学知として一層豊かになります。

執筆者・査読者の皆さん、編集を支えてくださった関係各位、そして日々様々な現場で挑戦し続ける読者の皆さんに心より御礼申し上げます。来る年も、平時と有事、分子と個体、研究室と現場（地域）をつなぐ「身体活動の科学」を、皆さんと共にさらに深めてまいりましょう。皆さんのご健勝と安全をお祈りしつつ、年末号の結びといたします。

小山勝弘

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 74, No. 6

体力科学 第74巻第6号

令和7年11月25日 印刷

令和7年12月1日 発行

編集兼発行者 後藤勝正
 一般社団法人日本体力医学会
 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
 RENEX Shin-Otsuka 3F 学会支援機構内
 TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社内
 TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社